

退位された明仁天皇（1933 年生）と美智子皇后（1934 年生）は、毎年那須御用邸に滞在される。ご滞在中の地域の農家へのご訪問は恒例であり、その年の収穫について質問され、彼らの労働に対する感謝を表される。1998 年 8 月の那須豪雨那須の際、両陛下は水害被災地をご視察になり、励ましのお言葉で被災者を慰められた。2011 年の東日本大震災の後には、那須御用邸の温泉を地域住民に開放された。

栃木県の野鳥繁殖事業の一環として、両陛下によるご放鳥が行われる。当初、明仁天皇は放鳥をご覧いただくだけの予定であったが、ご自身でキジの放鳥に挑戦された。それ以来、両陛下はこの事業でより積極的に役割を果たされてきた。近年では、放鳥箱が使用されるようになり、展示室の中央にその箱が展示されている。